

参考配布

令和5年8月15日

【照会先】

職業安定局 需給調整事業課

課長

中嶋 章浩

主任中央需給調整事業指導官

渡部 幸一郎

副主任中央需給調整事業指導官

喜多見 靖

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5335, 5325)

(直通電話) 03(3502)5227

労働者派遣法違反に係る告発について

標記について、愛媛労働局から別添のとおり告発の実施に係る発表を行った旨の連絡がありましたので、配布いたします。

なお、別添は、愛媛労働局が配布した資料です。



愛媛労働局発表
令和5年8月15日（火）

| | | |
|--------|-------------------|--------------|
| 担 当 | 愛媛労働局職業安定部需給調整事業室 | |
| | 室長 | 須合久 |
| | 需給調整指導官 | 大内謙 |
| | 需給調整指導官 | 越智誠 |
| | 電話 | 089-943-5833 |

報道関係者各位

無許可で労働者派遣事業を行った疑いで刑事告発

愛媛労働局（局長 小宮山 弘樹）は、令和5年5月29日、下記の者を労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（以下「労働者派遣法」）という。）違反の疑いで、刑事訴訟法第239条第2項の規定に基づき、愛媛県伯方警察署に告発した。

なお、告発後、捜査への影響を考慮し公表を差し控えていたが、本日公表するものである。

記

第1 被告発人

- 株式会社 川添工業
（所在地 愛媛県今治市北鳥生町）
- 同社 代表取締役（45歳 男）

第2 罪名及び罰条

- 労働者派遣法違反
同法第5条第1項（無許可での労働者派遣）
同法第59条第2号（罰則）
同法第62条（両罰規定）

第3 告発の事実

被告発人は、本店を上記所在地に置き、令和3年5月17日から令和4年8月25日までの間、労働者派遣法第5条第1項に規定する厚生労働大臣の許可を受けることなく、自己の雇用する労働者2名（448人日）をA株式会社に派遣し、その指揮命令の下で労働に従事させる労働者派遣事業を行った疑いがある。

第4 事案発覚の端緒等

令和4年8月22日、今治市吉海町本庄の造船所において、被告発人が雇用しA株式会社に派遣された作業員Bが、解体中の足場から転落して死亡する災害が発生したものである。

〈参考〉

○労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号）（抄）

（用語の定義）

第2条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 労働者派遣 自己の雇用する労働者を、当該雇用関係の下に、かつ、他人の指揮命令を受けて、当該他人のために労働に従事させることをいい、当該他人に対し当該労働者を当該他人に雇用させることを約してするものを含まないものとする。
- 三 労働者派遣事業 労働者派遣を業として行うことをいう。

（労働者派遣事業の許可）

第5条第1項 労働者派遣事業を行おうとする者は、厚生労働大臣の許可を受けなければならない。

（罰則）

第59条 次の各号のいずれかに該当する者は、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

- 二 第5条第1項の許可を受けないで労働者派遣事業を行つた者

第62条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関して、第58条から前条までの違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、各本条の罰金刑を科する。

○刑事訴訟法（昭和23年法律第131号）（抄）

（告発）

第239条

- 二 官吏又は公吏は、その職務を行うことにより犯罪があると思料するときは、告発をしなければならない。

（告訴・告発の方式）

第241条 告訴又は告発は、書面又は口頭で検察官又は司法警察員にこれをしなければならない。

（告訴・告発を受けた司法警察員の手続き）

第242条 司法警察員は、告訴又は告発を受けたときは、速やかにこれに関する書類及び証拠物を検察官に送付しなければならない。